

起業 挑戦できる環境を

森都心プラザ 熊本市長らパネル討論

革新的アイデアで新しいサービスを生み出す起業家への支援を考えるパネル討

論が9日、熊本市西区のくまもと森都心プラザで開かれ、大西一史熊本市長や起



起業家支援について意見を交わしたパネル討論

熊本市西区

業家、大学教授ら6人が意見を交わした。

プラザのリニューアルイベント企画。1日オープンしたビジネス支援施設「クロスポイント」であり、企業関係者ら約150人が参加した。

大西市長は「若者がチャレンジできる環境づくりと共に、市職員も新しい取り組みへの挑戦が必要だ」と指摘。東京から移住し、同市にオフィスを構えたホームページ制作会社の市川俊介代表は「職場の環境づくりや生活のための情報収集に苦労した」と問題提起。

崇城大総合教育センターの川副智行教授は「学生のチャレンジにも行政が何らかのサポートをしてほしい」と注文。クロスポイントの高瀬章充施設長は「インターンや子育て、学生などをしながら起業した人たちが交流できる場が大切だ」と訴えた。（濱田耕一郎）